



〇お知らせします。全国学力・学習状況調査

今年度は、国語・算数の2教科で6年生を対象に実施されました。相川小学校の結果と状況は、次の通りです。

1. 教科に関する調査結果から

—結果概要—

国語	<ul style="list-style-type: none"> ・全国平均を上回りました。 ・県平均を上回りました。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・全国平均を上回りました。 ・県平均を上回りました。

—各教科毎の成果と課題— (○：成果、▼：課題)

<国語>

- 資料を用いた目的を理解すること。
- 文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握すること。
- 目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考えること。
- ▼文の中における修飾と被修飾との関係を捉えること。

- ▼目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けること。

- ▼ひらがなの部分を正しい漢字に直すこと。

<算数>

- 二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを記述できること。
- 集団の特徴を捉えるために、どのようなデータを集めるべきかを判断することができること。
- 棒グラフから、数量を読み取ることができること。

- ▼直角三角形、平行四辺形の面積の求め方について理解していること。

- ▼速さを求める除法の式と商の意味を理解していること。

- ▼商が1より小さくなる等分除(整数)÷(整数)の場面で、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算することができること。

2. 児童質問紙の解答結果から

- ・「自分にはよいところがあると思う」で自尊心

情にかかわる回答率が全国平均よりも高くなっている。

- ・「いじめはどんな理由があってもいけないと思いますか」「人が困っている時は、進んで助けていますか」の回答率は、全国平均をやや下回っている。
- ・「計画を立てて勉強していますか」の回答率は、全国平均を上回っている。
- ・「授業以外(平日)にどれくらい読書をしますか」について「1時間以上する」と答えた児童の割合が、全国平均を大きく上回っている。
- ・授業以外に平日に1時間以上読書をする児童の割合が、大きく全国平均を上回っている。
- ・「新聞を読む頻度」について、「ほぼ毎日」の割合は、全国平均を上回っている。新聞を読む頻度が高いほど、国語・算数での正答率が高いという相関関係が本校にもあてはまる。
- ・「学校でコンピューターなどのICT機器を、他の友達と意見交換したり、調べたりするためにどの程度使用していますか」については、「月1回以上」の回答率が全国平均よりも高い。
- ・「友達に自分の考えがうまく伝わるように発表していたと思いますか。」の割合は、全国平均とほぼ同じだが、低い割合である。
- ・「あなたの学級では学級生活をよりよくするために話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」については、全国平均を大幅に上回っている。また、「学級での話し合いを生かして、今自分が努力すべきことを取り組んでいますか」も全国平均を高率で上回っている。
- ・「国語の勉強は大切」「算数の勉強は大切」について、全国平均を上回っているが、「国語の勉強が好き」「算数の勉強が好き」については全国平均をやや下回っている。
- ・「英語の勉強が好き」については、全国平均を上回っている。
- ・新型コロナ感染拡大による休校の期間中に「規則正しい生活を送っていたか」については、全国平均を大きく上回り、「計画的に学習を続けることができたか」についても上回っている。

3. これからの取り組み

- 「わかりやすい授業」となるために、全ての学級の授業で、授業の「目標」や「めあて」を黒板に書き、子供とのやりとりや話し合い活動など、子供たちが参加する授業を行い、授業の終末には「まとめ」を板書するなど、「見通し」と「振り返り」を意識した「甲府スタイル」の授業のより一層の充実を図っていく。
- 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図り、その力を活用する力の育成に取り組んでいく。
- 一人一台端末を指導者側が明確な目的をもって、活用していく。
- 図書館を要とした「読書活動」の充実を図る。
- 「家庭学習の充実」として、「自学」を発達段階に即して家庭と連携して展開していく。

【各教科毎の取り組み】

【国語】

- 要約する目的を明確にし、構成や表現の生かし方などを考えて要約し、それらを友達と意見交流する学習を行っていく。
- 修飾語と被修飾語の関係を文脈の中で確かめるために、線や矢印を用いて照合する関係を視覚的に捉えたり、語順を入れ替えて照合を確かめたりする活動を取り入れていく。
- 漢字の練習回数を増やし、確実に習得させていく。また、文章の中で使う練習を取り入れた授業を仕組んでいく。

【算数】

- 直角三角形の面積、二等辺三角形を組み合わせてできる平行四辺形の面積を求めることを式と言葉で書き表すことについては、「三角形や平行四辺形の高さの概念理解」を丁寧に指導していく。
- 二つの速さを求める式の意味について、単位当たり量として「速さ」を捉えることが大切で、「長さ÷時間＝速さ」という公式を覚えるにとどまらず、その公式を導き出す過程において「速さ」を量として捉え、「速さは単位時間あたりに移動する長さ」を思考させながら身につけさせていく。
- 決まった人数でジュースを等分する時の式と答えを問う問題から、等分除を行う場合、整数で割りきれないに関わらず、一つ分の大きさを求める立式を行うこと。また、連続量を

等分する時には、答えが小数になる場合があることを実際の操作を通して理解させ、繰り返しの練習で定着を図る。

- ◎6年生個人には、個別懇談会時に調査結果の個人票を配付し、改めて本調査における成果と課題について説明します。

校外学習・修学旅行を実施しました ご家庭のご協力に感謝します

この10月に予定していました1年生から5年生までの校外学習、6年生の校外学習が無事に実施できました。

コロナ禍の中での校外学習、修学旅行のため、ご家庭での感染防止対応や健康管理は、とても大変だったと思います。

活動の様子については、本校ホームページ「相川小ブログ2021」をご覧ください。

ご家庭のご協力に深く感謝申し上げます。

地域感染レベルについて ～現在のレベルは2です～

コロナ感染防止の中での学校の教育活動、家庭への対応の基準を示す指標として「地域感染レベル」があります。ここ数週間で全国及び山梨県の新規感染者数は、減少していますが、甲府市の地域感染レベルは、現在「2」です。

レベル2のため、本校でも音楽の合唱や器楽演奏（感染防止ガイドラインが示す条件設定が不可能なため）、理科の対面による実験、家庭科の調理実習が実施できないため、別の方法を組み入れる等、工夫しながら学習しています。

また、登校時には児童玄関前で健康チェックカードの確認と合わせて、一人一人の検温を実施しています。

家庭においては、「同居家族に発熱または風邪症状等がみられる場合は児童の登校は見合わせる」となっています。

本校では、11月6日（土）に運動会の実施を控えていることから、既に通知しましたように11月10日（水）まで感染防止対策を強化しています。

ご理解とご協力をお願いいたします。